



心を魅了! 特別展「楽器というデザイン」はじまる!



キー・ビトゥween・ピープルピアノ（商品化されていない）とサイレントチェロ（商品化されている）のコンサート風景。11月1日の特別展プレオープンにて。チェロは立川副子、ピアノは当館職員。

楽器博物館とヤマハ株式会社デザイン研究所との共催による特別展「楽器というデザイン～人生のパートナー～」が11月10日から始まりました。会期は2013年1月6日まで。楽器は音を出す、音楽を演奏するための道具。しかし、目で見える、手にさわられる、立体的なモノでもことから、人々は、美しい楽器、面白い楽器、手になじむ楽器、神に祈る楽器を作ってきました。太鼓でも弦楽器でも、その目に見えるデザインは世界中で千差万別、手にした時のフィット感もまた然り。そして今でも素敵なデザインの楽器は次から次へと作られています。

今回の特別展では、浜松市に本社のある楽器メーカーヤマハ株式会社のデザイン研究所の全面のご協力を得て、現代のデザイナーが考える素敵な楽器を展示しています。商品として一般市場で販売されているものもありますが、多くは商品化されていないコンセプトモデルです。

たとえば、展示室入口正面にあるキー・ビトゥween・ピープル key between people と名付けられた電子ピアノ。優雅な曲線のラインをもつ黒のテーブルの一辺の同一平面に、鍵盤が付けられています。演奏すると奏者の手の平は隠れることなく、テーブルの上面をあたかも滑るように動きます。テーブルの周りには、人々が座り、食事や飲み物を取ることができます。音楽と楽器と人が一体となる、そんなコンセプトで作られたピアノです。2008年のイタリア・ミラノサローネに出展されたコンセプトモデルで商品化はされていませんが、こんなピアノが家にあったらさぞかし素敵でしょう。

またギターをとりまくさまざまな装置もなかなか素敵なので、ギタースタンドとジャケットのハンガーが一体となったステイ・ウィズ・ミー stay with me も、ギターファンにはたまらない作品でしょう。これも商品化はされていませんが。

とにかく、こんな楽器と暮らしたら、人生幸せになりそうな楽器とその関連装置が集まっています。人生のパートナーという副題が付いたこの展覧会、時々キー・ビトゥween・ピープルピアノで生演奏もしていますので、ぜひ見学にお越し下さい。

バンバン！ケンバン♪はままつ 鍵盤楽器オンパレード！



タイのラナート 演奏はスリヤサンキートの福田明子さん、柏祐香子さん、山本錦悟さん。タイの木琴で船型が特徴。吊るされたそれぞれの鍵（音板）の裏にはオモリがついていて、オモリの量で音程を調整します。1 オクターブが7等分されているので、西洋音楽とは全く異なる独特の味わいがします。太鼓のクローンケークも加わりました。



アフリカのマリンバ 演奏はロビン・ロイドさん。マリンバの発祥の地はアフリカ。演奏したのは旧ザイールのパラフォン。ひょうたん共鳴装置でよく響きますし、ヒョウタンの孔に貼った蜘蛛の巣がビリビリと響いて快感です。パラフォンの他に、親指ピアノも演奏しました。

ムビラ 演奏はまりおさん。ジンバブエの親指ピアノです。板に付けられた薄い鉄片を指ではじいて鳴らします。共鳴させるために半球形の大きなヒョウタンの殻にのせて演奏します。オルゴールのようなとても綺麗な響きです。



スウェーデンのニッケルハルバ 演奏は本田倫子さん。弦を弓でこすって鳴らす伝統民俗弦楽器です。どこが鍵盤かというと、左手の部分。棹にたくさんのレバーがついていて、キーボードになっています。これを操作すると弦が押えられて音の高さが変わります。スウェーデンの田舎の伝統舞曲を楽しみました。



リードオルガン 演奏は鈴木開さん。1891年アメリカ、エスティ社の豪華なリードオルガンです。住宅の居間に置かれた高級オルガンで、とても優雅な音がします。ペダルの操作で空気の送り込み加減を調整して、繊細な音色を出します。日本の童謡や西洋のクラシック曲を楽しみました。



バリ島のジェゴグ 演奏はスカルサクラの皆さん。バリ島に伝わる世界最大級の竹のガムランです。総勢15人で演奏します。巨大な竹から生まれる重低音の音響は感動もの。子供も大人も楽しんでくれました。



チェンバロ 演奏は公月愛子さん。1765年バリのプランシェ製作のオリジナルチェンバロと、現代の最新式電子チェンバロを演奏しました。フランスの18世紀、ロココ文化のこの上なく優雅な曲を楽しみました。



ジャワ島のガムラン 演奏はハナジョスのお二人ローフィット・イブラヒムさんと佐々木宏実さん。大編成のガムランではなくて小編成でしっとりとした味わい。歌や、世界遺産の影絵芝居ワヤンクリに使う皮人形も加わり、ジャワの伝統文化に触れました。

バリ島のガムラン 演奏はギータクンチャナのお二人小林江美さんと松村涼子さん。大編成のゴンクビヤールではなくて、たった2人で演奏するスタイル。2人が微妙にずらして演奏するので、聞いていると細かなビートになります。妙技でした。



ヴィブラフォン 演奏は瀬川順子さん。ピアノ伴奏は那須町子さん。ヴィブラフォンは鉄琴ですが、その名の通り、出した音にヴィブラートがつけられるのが大きな特徴。なんとも甘い響きになります。ジャズや映画音楽を楽しみました。



グアテマラのマリンバ 演奏はスカルサクラの皆さん。中米のグアテマラは、マリンバが国民楽器として盛んな国。6オクターブもある大型で、通常4人で演奏します。共鳴管に貼ってある薄い膜がビリビリと響き、独特の音世界でした。



バリ島のリンディック 演奏はギータクンチャナのお二人小林江美さんと松村涼子さん。竹筒を並べたコンパクトな楽器を一对2台で演奏します。なんとも愛らしい、乾いた明るい音がする南国の竹のシロフォンです。

主催：静岡文化芸術大学 共催：浜松市民映画館シネマイール 助成：公益財団法人浜松市文化振興財団、公益財団法人ローランド芸術文化振興財団 特別協力：株式会社河合楽器製作所、株式会社鈴木楽器製作所、ヤマハ株式会社、株式会社ヤマハミュージック東海浜松店、ローランド株式会社 協力：株式会社アクトシティマネジメント、オークラアクトシティホテル浜松、JR 東海静岡支社、浜松市楽器博物館 後援（順不同）：浜松市、浜松市教育委員会、浜松商工会議所、浜松創造都市協議会、浜松まちなかにぎわい協議会、日本文化政策学会、浜松観光コンベンションビューロー、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、FmHarol、K-MIX 楽器博物館会場入場者：計666人

ウクレレは小型で4弦の撥弦楽器で、形はギターに似ています。ウクレレといえばハワイを思い浮かべる方も多いと思いますが、今ではハワイのほか世界各地で人々に愛好されています。ウクレレの原型の楽器は19世紀末にポルトガルからハワイへ移民により持ち込まれたと言われています。今回の演奏は若手演奏家の新納悠記さん。新納さんは4種類のウクレレを使い、説明を交えながらリリウオカラニ作曲「アロハ・オエ」やハロルド・アーレン作曲「虹の彼方に」などを演奏しました。ゆったりと時間が流れ、ハワイの景色が目に浮かぶような穏やかなひとときでした。

日時：平成24年10月24日（水） 19:00～21:00
会場：楽器博物館天空ホール
出演：新納悠記（ウクレレ） 鈴木智貴（ギター）
入場者：59人

イヴニングサロンコンサート

「君偲ぶ～アルパの想い～」



イヴニングサロン初となるジャズコンサートが開催されました。今回は公益財団法人ローランド芸術文化振興財団との共催で、ローランド社製の電子楽器を使い、「リベルタンゴ」や「チュニジアの夜」などの名曲を演奏しました。オルガンとアコーディオンを美淋つゆ子さん、ドラムを恒川久徳さんが担当し、曲と曲の合間にはお二人の楽しいトークが繰り広げられ、会場は笑いに包まれました。1時間ほどのコンサートでしたが、お二人の息ぴったりな躍動感あふれるジャズの演奏に観客は魅了されました。

日時：平成24年10月20日（土） 18:30～19:30
会場：楽器博物館天空ホール
出演：美淋つゆ子（電子オルガン / 電子アコーディオン）
恒川久徳（電子ドラム） 入場者：37人

ワークショップ

「南米のハーブ アルパをひこう！」



レクチャーコンサート No. 139

「ハワイから世界へ～ウ・ク・レ・レ～」



アルパとは、スペイン語で「ハーブ」の意味です。パラグアイ、ペルー、メキシコ、ベネズエラなど中南米各地で演奏されています。特にパラグアイでは国民的楽器となっています。今回のコンサートでは岩佐しおりさんがコンサートのタイトルでもある、デメトリオ・オルティス作曲の「君偲ぶ夜」（ミス・ノーチェス・シン・ティ）、日本の有名な童謡、浜辺の歌など10曲を演奏しました。演奏だけでなく、パラグアイの民族衣装「ニャンドゥティ」を身にまとった岩佐さんの素敵な姿にも、会場はうっとりしていました。

日時：平成24年9月8日（土） 18:30～19:30
会場：楽器博物館天空ホール
出演：岩佐しおり
入場者：51人

イヴニングサロンコンサート

「ミュージアム・ジャズナイト」



前述の中南米のハーブ「アルパ」のワークショップを開催しました。今回はパラグアイのアルパを岩佐しおりさんに紹介していただきました。最初に楽器の構え方などの基礎を教えていただき、その後「ふるさと」の練習に取り組みました。片手の練習から少し難しくなって両手の演奏にも挑戦し、楽しみながら演奏していました。演奏だけでなく楽器についての質問も参加者から多くあり、大変充実した時間となりました。アルパのやさしい音色に癒されたひとときでした。

日時：平成24年9月9日（日） 10:00～12:00
会場：アクトシティ研修交流センター
講師：岩佐しおり
参加者：8人

講座

「楽器の中の聖と俗」



この講座は開館以来行っている講座です。講師の西岡信雄さんが自身のフィールドワークの映像や経験などから楽器や音楽の謎に迫ります。第54回は近年日本で話題となったブータン王国で、色鮮やかな仮面と装束をまとった僧侶が舞う祭り。第55回はインドのベンガル地方に暮らすバウルと呼ばれる人たちが吟遊詩人のように歌う奥義。第56回はヴェトナムの竹を使った愉快的な楽器について、楽しく学びました。

10/15(月) 第54回「ブータン 舞い狂う霊獣の祭り」
10/22(月) 第55回「インド 愛を語る吟遊詩人バウル」
11/12(月) 第56回「ヴェトナム 愉快、爽快、街角の竹音楽」
いずれも 18:30～20:00
会場：楽器博物館展示室
講師：西岡信雄（大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長）
受講者：計72人

ミュージアムサロン

ゲストによるミニコンサートを開催しました。9月16日(日)は2組のゲストが登場。「オカリナ」と「金管アンサンブル」です。オカリナの演奏は“音心”の2人による演奏。優しいオカリナの音色と息の合ったピアノでした。金管十重奏は浜松を中心に活動をしている、ハママツプラスアンサンブルの皆さん。華やかで重厚なハーモニーを奏でました。22日(土)の「金管アンサンブル」では“東郷源と仲間たち”によるトロンボーン四重奏を楽しみました。30日(日)は「アイリッシュフルート&アイリッシュハープ」。hataoさんと上原奈未さんによる北欧の優しい音楽に癒されました。



時間：14:00～、15:30～(各30分) 会場：楽器博物館天空ホール
9/16(日)「オカリナ」音心 えんじろう(オカリナ) 亮子(ピアノ) 136人
※13:15～、14:45～(各30分)
9/16(日)「金管アンサンブル」ハママツプラスアンサンブル 110人
9/22(日)「金管アンサンブル」東郷源と仲間たち 120人
9/30(日)「アイリッシュフルート&アイリッシュハープ」hatao(アイリッシュフルート) 上原奈未(アイリッシュハープ、ピアノ) 46人 ※14:00～

これからの催し物

ホームページでは最新のイベント情報を紹介しています。ぜひご覧ください。

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日数回
チェンバロや19世紀のピアノなどのデモ演奏
- レクチャーコンサート
「第8回浜松国際ピアノコンクール開催記念 魅惑のピアノ五重奏」
11/18(日) 19:00(プレトーク 18:30) 音楽工房ホール
出演：デン・ハーグピアノ五重奏団
「オルガン・ヒストリー」
11/24(土) 18:30 天空ホール 出演：ヘクター・オリベラ
「オカリナ・クリスマス」
12/15(土) 18:30 天空ホール 出演：スイートポテトオカリナ合奏団
- イブニングサロン いずれも天空ホール
「古楽の愉しみ」 11/14(水) 19:00 出演：桐朋学園大学音楽学部
「グラン・ママン～100年前のアコーディオン～」
11/30(金) 19:00 出演：かとうかなこ、向島ゆり子
「国際古楽コンクール<山梨>2012入賞者コンサート」
12/1(土) 18:30 出演：倉本晋児、野澤知子
- ミュージアムサロン 14:00、15:30 天空ホール
11/1(木)「チェロ&電子ピアノ」14:00 出演：立川訓子、当館職員
11/18(日)「チェロ&電子ピアノ」11:30、12:30
出演：立川訓子、萩田なずな
11/25(日)「サクセス&ピアノ」出演：坂本佐智子、山田優子
12/2(日)「ブルーグラスバンド」出演：カントリーフロンティア

博物館日誌

- 9/8(土) イブニングサロン「君偲ふ夜～アルパの想い～」
18:30 天空ホール 出演：岩佐しおり 入場者：51人
9/9(日) 楽器体験ワークショップ「南米のハーブ アルパをひこう！」
10:00～12:00 アクトシティ研修交流センター
講師：岩佐しおり 参加者：8人
9/10(月)～13(木) 移動楽器博物館 浜松市立都田南小学校
9/16(日) ミュージアムサロン「オカリナ」 13:15、14:45 天空ホール
出演：音心えんじろう、亮子 入場者：136人
ミュージアムサロン「金管アンサンブル」14:00、15:30 天空ホール
出演：ハママツプラスアンサンブル 入場者：100人
9/18(火)～21(金) 移動楽器博物館 浜松市立神久呂小学校
9/22(日) ミュージアムサロン「金管アンサンブル」14:00、15:30 天空ホール
出演：東郷源と仲間たち 入場者：120人
9/30(日) ミュージアムサロン
「アイリッシュフルート&アイリッシュハープ」14:00
天空ホール 出演：hatao、上原奈未 入場者：46人

- 10/6(土) 浜松市楽器博物館友の会コンサート 18:00 天空ホール
出演：エルデーディ弦楽四重奏団 参加者：63人
10/15(月) 講座「楽器の中の聖と俗」
第54回「ブータン 舞い狂う霊獣の祭り」 18:30
展示室 講師：西岡信雄 受講者：24人
10/20(土) バンバン!ケンバン!はままつ
出演：本田倫子、HANA★JOSS、スリヤサンキート、
ロビン・ロイド 入場者：296人 展示室
ミュージアムサロン「ジェゴグ」13:00、16:00 1F 展示室
出演：スカルサクラ 入場者：108人
ミュージアムサロン「リードオルガン」14:30、16:20 1F 展示室
出演：鈴木開 入場者：95人
イブニングサロン「ミュージアム・ジャズナイト」 18:30
天空ホール 出演：美林つゆ子、恒川久徳 入場者：37人
10/21(日) バンバン!ケンバン!はままつ
出演：名古屋音楽大学、ギター・クンチャナ、まりお、
瀬川順子、那須町子 入場者：370人 展示室
ミュージアムサロン「リードオルガン」10:30、13:20、16:10
1F 展示室 出演：鈴木開 入場者：112人
ミュージアムサロン「電子チェンバロとブランシェチェンバロ」
11:00、13:40 地下展示室 出演：公月愛子 入場者：77人
10/22(月) 講座「楽器の中の聖と俗」
第55回「インド 愛を語る吟遊詩人バウル」 18:30
展示室 講師：西岡信雄 受講者：27人
10/22(月)～26(金) 移動楽器博物館 浜松市立中瀬小学校
10/24(水) レクチャーコンサート「ハワイから世界へ～ウ・ク・レ・レ～」 19:00
天空ホール 出演：新納悠記、鈴木智貴 入場者：59人
11/1(木) ミュージアムサロン「チェロ&電子ピアノ」14:00 1F 展示室
出演：立川訓子、近藤晴香(当館職員) 入場者：25人
11/3(土) 文化の日無料入館日 入館者：705人
11/10(土) 特別展「楽器というデザイン～人生のパートナー～」(1/6まで)
11/12(月) 講座「楽器の中の聖と俗」
第56回「ヴェトナム 愉快、爽快、街角の竹音楽」18:30
展示室 講師：西岡信雄 受講者：21人

浜松市楽器博物館だより

平成24年11月15日発行 No.73 編集 浜松市楽器博物館
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129
E-MAIL wakuwaku@gakki-haku.jp URL <http://www.gakki-haku.jp/>